

<<最終更新日：2025年02月26日>>

[English](#)

## 基本情報

時間割コード／Course Code	030866 (知のジムナスティックス科目)
開講区分(開講学期)／Semester	春～夏学期
曜日・時間／Day and Period	水1
開講科目名／Course Name (Japanese)	特殊講義（計量経済分析1）
開講科目名(英)／Course Name	Special Lectures (Econometric Analysis 1)
定員／Capacity	0
ナンバリング／Course Numbering Code	03ECBM4E310
授業形態／Type of Class	講義科目
単位数／Credits	2.0
年次／Student Year	3,4,5,6年
担当教員／Instructor	谷崎 久志
メディア授業科目／Course of Media Class	非該当

### ※外部公開用シラバスについて

このページは、外部公開用に、教室等の一部項目が非表示になっています。  
ログイン可能なユーザは、[KOAN](#)からシラバス参照することで、当該項目が表示されます。

### ※メディア授業科目について

授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としています。  
学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。  
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

[授業担当教員一覧](#)

---

## 詳細情報

**授業サブタイトル／Course Subtitle****開講言語／Language of the Course****学習方法／Learning Methods****授業の目的と概要／Course Objectives****学習目標／Learning Goals****履修条件・受講条件／Requirements, Prerequisites****出欠席及び受講に関するルール／Attendance and Student Conduct Policy****授業計画／Class Plan**

計量経済学によるデータ分析の方法

日本語

聴講・視聴：講義・教材・実演を視聴して学ぶ（例：講義の対面受講、オンデマンド教材視聴）

計量経済学では、理論面を中心に学ぶが、実際に観測されたデータを用いて、どのように分析を行うかといった講義に時間を割くことができないのが実情である。本講義では、経済学で学んだ様々な理論が現実的かどうかを調べながら、データ分析の方法を修得する。

**1** 計量経済学・統計学に関する理論や実証分析が説明できる。

統計と計量経済を履修していることが望ましい。

題目:計量経済学の復習

**第1回** 最小二乗法の導出

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目:計量経済学の復習

**第2回** 最小二乗推定量の性質

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目:計量経済学の復習

**第3回** 推定・検定

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目:計量経済のPCソフトの紹介と実行方法

**第4回** Excel, Gretlの使い方

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

**第5回** 題目:需要関数の導出（経済理論に基づく）

効用最大化問題

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目：需要関数の推定（データ分析）

**第6回** データの入手方法

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目：需要関数の推定結果の解釈

**第7回** 推定結果の解釈の仕方

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目：供給関数の推定（データ分析）

**第8回** データの入手方法

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目：供給関数の推定結果の解釈

**第9回** 推定結果の解釈の仕方

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目：GDPの要因分析

**第10回** GDPの要因分解の方法

回

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目：GDPデータを用いた時系列分析

**第11回** 原系列，季節調整

回

授業時間外学習：授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目:マクロ経済モデルの構築方法

**第12** 消費関数, 投資関数の推定

- 回 授業時間外学習: 授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目:マクロ経済モデルによるシミュレーション

**第13** シミュレーションの方法

- 回 授業時間外学習: 授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目:まとめ

**第14** まとめ

- 回 授業時間外学習: 授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

題目:まとめ

**第15** まとめ

- 回 授業時間外学習: 授業前にはあらかじめ教科書に目を通し、授業後には授業内容を復習しておくこと。

谷崎久志・溝渕健一『計量経済学』新世社, 2023年

(<https://www2.econ.osaka-u.ac.jp/~tanizaki/class/2025/index.htm>)

にも講義ノートを掲載する)

**教科書・指定教材 / Textbooks**

**参考図書・参考教材 / Reference**

**成績評価 / Grading Policy**

※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。

**評価方法 / Evaluation レポート・論文**

Methods 文

学習目標1 ○

評価割合 (%) / Allocation of Marks 100%

**成績評価に関する補足情報 / Additional Information on Grading**

**特記事項 / Special Note**

授業に関する情報 (講義ノート, レポート内容, データなど) は

<https://www2.econ.osaka-u.ac.jp/~tanizaki/class/2025/index.htm>

**実務経験のある教員による授業科目 / Course Conducted by  
Instructors with Practical Experience****授業担当教員**

教員氏名 / Instructor Name	所属・職名・講座名 / Affiliation, Title, Course	e-mail / E-mail
谷崎 久志	経済学研究科・教授	tanizaki@econ.osaka-u.ac.jp

**学生への注意書き**